

令和元年 10 月 東御市教育委員会 定例会会議録

1 日 時

令和元年(2019年)10月23日(水) 午前11時17分から午後0時06分まで

2 場 所

東部中学校 会議室

3 議 題

(1)協議(審議・検討)

議案第19号 就学援助費支給の認定について

議案第20号 区域外通学について

(2)報告

ア 教育課

(ア)いじめ、不登校の状況等について

(イ)CRT学力検査の結果について

(ウ)災害対応と今後について

・通学路変更

・給食緊急対応

4 出席者

○教育長 小山 隆 文

○委 員

教育長職務代理者 下 村 征 子

委 員 小 林 経 明

委 員 小 林 利 佳

○その他

小林教育次長、柳沢教育課長

小林学校教育係長、畑田指導主事、長岡指導主事、

唐澤学校教育係主査、土屋学校教育係主任

会議録

小林教育次長

ただいまから、10月定例教育委員会を始めます。教育長から開会宣言をお願いします。

小山教育長

10月定例教育委員会の開会を宣言します。

資料を用意させていただきました。県内の不登校が過去最多で、割合が高いのは小学生で6年生の1.59%、中学生で2年生の4.22%となっています。

小中学校とも「学業の不振」がかなり大きな要因になっており、本人課題では「不安の傾向がある」の割合が高くなっていますが、勉強が分からなければ、当然不安になるので、様々な面が「学業」に関係しているのではないかと思います。授業の改善と併せて家庭学習もしっかりやり、昨日学んだことを今日につなげるような積極的な勉強をしていかなければ授業についていけられないのではないかと感じました。

様々な方法がありますが、学校としては基礎学力をいかに定着させるかが大事ではないかと考えております。

いじめについては、細かなものまで報告をあげる国の方針で、件数も増えてきています。改めて次年度に向けた不登校対策、いじめの防止の取り組みをどうするか、お知恵をお借りしたいと思っております。

次に、先週日曜日にGMOアスリーツパーク湯ノ丸がオープンしました。素晴らしいプールが完成しましたので、ここから国際級のアスリートが生まれ、世界にその名を広めてもらえればありがたいと思っております。

台風の関係についてはこの後詳しい報告がありますが、生活のインフラが1つでも欠けると大きな影響があることを学ばせていただきました。これまでの全般的な報告では個人住居の床上床下浸水が6件、また幹線道・鉄道で被害を被ったという状況です。

なお、学校関係についても後程報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

(1)協議(審議・検討)

議案第19号 就学援助費支給の認定について

小山教育長

議案第19号 就学援助費支給の認定について、個人情報に関係もありますので非公開とします。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

小山教育長

それでは、非公開とします。

小山教育長

続きまして、議案第 20 号 区域外通学について説明を求めます。

柳沢教育課長

孺恋村教育委員会から、土砂崩れのため、児童1名の柵津小学校への受け入要望がありました。県をまたいでの区域外通学であり、県教育委員会等と打合せをしているところですが承認をお願いします。

小山教育長

議案第 20 号 区域外通学について、異議ありませんでしょうか。

全委員

異議なし。

小山教育長

議案第 20 号 区域外通学については承認されました。

続きまして、(2)報告に移ります。順次報告願います。

長岡指導主事

ア教育課（ア）いじめ・不登校の状況等について報告します。

令和元年9月末現在、不登校の児童生徒の状況及びいじめ、いじめと思われる把握件数は資料のとおりです。

（説明内容非公開）

小山教育長

学校が忙しい、数値目標がクリアされないと教育の成果としての評価が弱いという状況下で、子ども自身もストレスを溜めているのではないかと感じます。もう少し余裕のある学校生活にしないとこれからの子供たちは益々心を病んでしまうのではないかと心配です。自分でコントロールする力をつけなければ、いずれにしろ行き詰ってしまうだろうと思います。

新たな不登校生を出さないということと、基礎学力の定着や自己肯定感を高めるための支援と

いったものに、学校が皆で具体的に打合せをしながら主体的に関わっていかなければ本質的な解決につながりにくいのではないかと感じました。

長岡指導主事

(イ) CRT学力検査の結果について報告します。

小学校中学校とも、全国学力テストより教科数が多くなっています。小学校についてですが、国語は合計点数では全国平均を上回っています。算数もほぼすべての学年で全国平均を上回っています。社会科は地域にかかわる学習内容が多くなるので、問題自体が難しいということもありますが、全国より平均が下がっています。学習内容や知識として持っていなければならないものをしっかり学習していかなければならないと思います。理科については、全体的に平均を下回る学年が増えてきています。理科は実際に具体的なものを見せながら、知識、理解を確実なものにしていかなければならないので、授業の仕組みややり方を見返していく必要があると思います。一般的に、国語・算数は非常に良いですが、社会・理科に課題があると思います。

中学校についてですが、全国の平均より1、2年生は低くありませんが、3年生は下がっています。数学は1年生と3年生で全国平均より少し下がっています。英語は全国に比べ若干下がっています。ばらつきの中で分かる子と分からない子の極端な差がないか検証しなければいけないと思いました。

柳沢教育課長

(ウ)災害対応と今後について報告します。

台風19号の関係ですが、10月12日午後2時15分から東部地区4小学校、北御牧中学校で避難所を開設しました。また海野宿橋が落橋し、ガス管が破損したことで、田中小学校に避難する人が多くなったため、中央公民館を13日午前3時半から開設しました。最終的には午前9時半までに全員退去されました。避難所開設にあたっては特に問題は発生しておりません。

次に学校関係ですが、橋が何ヶ所か落ちたことにより、通学路の変更があります。まず郷仕川原ですが、田中橋の通行止めにより、羽毛山を経由して小中学校に通っています。この道は非常に狭く、歩いて通行するのは無理だろうということで全員が保護者の送迎により通学している状況です。東部中学校で2名、田中小学校で4名と聞いており、迂回すると小学校で2.8km、中学校で2.4km通学距離が増えるということです。次に本海野ですが、海野宿橋が崩れたことで先週月曜日から本海野の踏切を渡り、国道18号線に上がり、国道の歩道を通学路として利用しています。しかし旧道の金原川の工事が11月の連休に終わる予定で、これにより、白鳥神社から国道までの交通量が増え、危険な状況になることも考えられ、建設課と通行止めの可否について検討に入っているところです。次に北御牧ですが、北御牧小中学校の通学路になっている切久保橋の落橋により、御八城大橋を経由し通学路を設定しています。

小林学校教育係長

続いて給食緊急対応について報告します。

北御牧の断水により給食センターで給食が作れないため、北御牧中学校のものは東部中学校で、北御牧小学校のものは田中小学校で、合計約 400 食のおかずをつくり、ご飯は東部地区と同じ様に、炊飯センターから各小中学校に配達しました。

今回の災害に対して、市教育委員会では検討会議を開きました。断水している地区が何ヶ所もあり、弁当持参は家庭への負担が大き過ぎること、復旧の目途が立たないため半日授業で帰宅させることも課題があること、簡易給食では対応できないかといった意見の下に、今回の決定に至りました。

休日にも関わらず、給食関係者の真摯な協力や連携で、緊急対応が出来たことに感謝しております。

小山教育長

本日の議題は以上です。それでは、10 月定例教育委員会を閉会します。